

ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

栃木保健医療生活協同組合

健康とくらし

2023年5月

529号

特集
2～5面

第48回通常総代会議案書 ダイジェスト版

4月中旬、インドの人口が中国を抜き世界一位になったと国連が報じた。中国とインドの人口は14億人を超え、日本の約12倍。近い将来、米国、中国に続いて第3位の経済大国に躍進する、その時日本は残念ながら8位に後退すると言っている。

現在、先進国と言われる各国で人口減少が進んでいる。一方、新興国の人口は急速に拡大し、それに伴い経済発展が目覚ましい。世界の経済が今後、彼らを中心に展開することは予想に難くない。

日本は人口減少が始まっており、その一因に少子化がある。一方、高齢化も進んでいる。2021年7月に発表された日本人の平均寿命は2020年、男性が81.64歳、女性が87.74歳で世界一の長寿国である。

2000年からの20年間で男性が3.92歳、女性は3.14歳寿命が伸びた。もう暫くは平均寿命が伸びると予測されている。

もう一つ、2021年10月、各年代別の人口構成比と男性と女性の人口割合（比）についてデータが示された。

15歳未満の人口は全人口の12%で、男女比は男性が10.5%と多い。同じく15歳～64歳では人口が59.3%で男女比は男性が102.6%。やはり男性が多い。

一方、65歳以上の人口は28.8%で、うち男性は77.0%と激減する。この男女比を65歳～74歳と75歳以上の条件で比較すると、男性の割合は前者が91.6%、75歳以上では65.2%となる。これら高齢者の男女比の値には平均寿命の男女差が影響しているが、特に75歳以上では先の第二次世界大戦の影響が大きいと思われる。

今、ロシアがウクライナに軍事侵攻し戦争状態にある。若き男性兵士の犠牲と一般市民の犠牲者が何とも痛ましい。一刻も早く戦争が終結することを願って止まない。

待合室

みらいに向かって次の一步を踏み出そう

第48回 通常総代会議案(ダイジェスト)

2023年4月22日 栃木保健医療生活協同組合 理事会

第48回通常総代会 議題

- 第1号議案 2022年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2022年度決算報告及び剰余金処分案承認の件
- 監査報告
- 第3号議案 2023年度事業計画承認の件
- 第4号議案 2023年度予算決定の件
- 第5号議案 2030年までの長期計画(2030年ビジョンの補強)承認の件
- 第6号議案 監事監査規則改定の件
- 第7号議案 役員補充選任の件
- 第8号議案 役員報酬決定の件

第1号議案 2022年度の事業報告

はじめに

コロナ禍の混乱が続く中、昨年11月に念願だった本部・虹の新築移転が完了しました。3月25日に開催した臨時総代会では、ふたば事業所の購入と増築計画などの議題を承認

織改革への一步を踏み出しました。再来年には生協創立50周年を迎えます。地域の組合員と役員が力を合わせ、みらいに向かって次の一步を踏み出しましょう。



新築移転した虹・本部棟

《2022年度事業と活動の振り返り》

【1】地域活動の特徴

(1) コロナ禍を経験し、つながりの大切さ実感

9月に関信越エリア組合員活動交流集会を宇都宮で開催しました。残念ながら他県の組合員の現地参加は叶いませんでしたが、栃木の組合員は2会場にのべ120人が集まりました。記念講演した「生き心地の良い町」著者岡檀さんおがまのきから「ゆるやかなつながり」の大切さを学びました。

新しい班が10班できました。そばの会、ことば遊び、ハイキングなど、多様な要求に沿った活動が特徴的です。

(2) 出資金1口金額変更

出資金1口1,000円がスタートしました。「あらゆる世代に気軽に加入を呼びかけやすくなった」と歓迎され、新しい加入者が誕生しています。一方で、新規加入者は前年度754人に対し、2022年度は687人とどまりました。

出資金ふやしについては1口金額が下がったことで特別な努力が求められています。

生協創立時から支えていただいた方々が高齢になり、脱退や減資が増えています。生協の事業と運動の元手となる出資金の大切さを繰り返し伝え、すべての組合員に依拠した取り組みが重要です。

加入を含めた増資額は16万5千1千円であるのに対し、減資額は3万6千5百93万500円です。▲198万3千9500円の純減となりました。うち、2022年度末、所在不明組合員のみなし自由脱退処理を行いました。722人548万1千円を預かり金とすることになりました。

(3) 新たな居場所に期待膨らむ

11月に本部・介護事業所棟の新築移転で、地域交流スペース「虹の杜」ができ、新たな地域の居場所として期待が膨らんでいます。

11月19日に虹・本部棟落成式に合わせて開いた「虹のマルシェ」にはたくさんの来場者がありました。宇都宮市以外の地域からも「バスを仕立

【2】事業活動の特徴

①「断らない」スタンスでいのちを支える

「てて見学会」など多数の組合員が訪れ、期待の高さがうかがえます。子ども塾☆わいわい食堂のクリスマススイベントや、職員の研修会なども多く開かれています。

ふたば地域では、診療所とふれあいコープ、地域住民らの協同で「つながる力フェカムカム」が10月にスタートしました。地域の高齢者や子どもたちが来る居場所として、早速集いの場になっています。ふたば事業所の職員や地域の組合員も積極的に参加しています。



新班 ボッチャ宝会（宇都宮北西支部）

②介護事業は苦戦

大きく超過しました。

引き続きコロナ禍に翻弄される事業経営を強いられました。その中で、医療事業は医師体制の厚みを力に、コロナ第7波、第8波で医療崩壊が叫ばれる中でも有症状者外来に積極的に取り組み、収益を大きく伸ばすことができました。特に宇都宮協立診療所では、近隣のクリニック等が医師体制などの困難から有症状者受け入れを制限せざるを得ない中で、「断らない」姿勢を貫きました。患者さんからは「何件も断られ辛かった、協立さんに感謝」、職員からは「職員体制はギリギリで大変だったが『断らない』ことでストレスなく誇りを持って働くことができた」との感想が語られました。

事業収益は14億9760円で予算比109%、決算前の経常利益は6996万円で予算比180%となり、予算を

一方で、介護事業は全体として苦戦しました。事業規模に見合うギリギリの体制でサービス提供を行っています

が、コロナ禍の影響で利用者や職員の感染による急な休みや家族の影響で出勤できなくなるなど、サービス提供体制が崩れ、全体として予算達成ができませんでした。

コロナ禍において、介護度が比較的低度の方は利用控えがありますが、介護度の高い方は

サービス利用が命綱であるため、通所や在宅でのケアに各事業所職員が奮闘しました。コロナ禍の経営困難で閉鎖した事業所の利用者を受け入れるケースもありました。また、コロナに罹患し在宅で療養する方を訪問看護師やヘルパーが訪問し、ケアするケースも少なくありませんでした。その際、医療的なケアには加算があるのに対し、介護ケアには加算が無いという矛盾が露呈されました。

しかし、事業の問題点をす

べてコロナのせいにはできません。利用者を獲得するため

の広報や営業努力、サービスの内容の見直しや職員のシフト調整などの事業改善が求められています。介護事業の質向上を目標に学びを開始した「10の基本ケア」(※)は、7月に講師を招いた講演会を開催、11月と3月に奈良県の協同福祉社会に職員を研修派遣しました。介護事業部を強化し引き続き改革に取り組みます。

③「2030ビジョン」で一歩前進

昨年の総代会で「栃木保健医療生協の2030ビジョン」を策定しました。社会の変化を念頭に、栃木保健医療生協の事業と運動をどのように発展させていくかを問題提起しました。

昨年11月に老朽化した旧本部(創立時の協立診療所)を新築移転し、生協本部と介護事業所(デイ・居宅・訪看・ヘルパー)、地域交流スペースが稼働しています。今年3月にはふたば事業所の建物・土

地購入し、増改築をすることが決まりました。また、宇都宮協立診療所も職員数が急増し機能強化や職場環境整備が急務となり、近隣に取得した土地にプレハブを建設し、職員の休憩や作業スペースを確保することにしました。引き続き、歯科事業の具体化や第3診療所づくりに向けた議論を進めています。

建設の課題は一歩進みましたが、地域・組合員活動面ではこれからです。昨年出資10金額を1,000円にしましたが目に見える変化は現れていません。高齢者から未来を担う子どもまで、誰もが役割を持つて参加できる居場所づくり、地域の組合員と役員がともに知恵と力を出し合いましう。



第3号議案 2023年度の事業計画

私たちをとりまく情勢

コロナ禍は5月8日からは「5類相当」となり季節性インフルエンザなどと基本的に同じ扱いとなります。しかし、ウイルスが弱くなったわけではありません。組合員のみなさまには引き続き感染対策と他者に配慮しながらの地域活動と呼びかけます。ワクチン接種の補助などは一定期間継続しますが、自己負担になる流れです。私たちは医療難民、介護難民を生み出す危険のある自己負担化に警鐘を鳴らし、公的補助を継続拡大するよう行政に働きかけを強めます。

ロシアによるウクライナへの侵略は1年以上を経過しました。戦争によって犠牲になるのは罪のない市民です。日本国憲法が生まれた背景にあるのは野蛮な侵略戦争への反省です。今こそ日本国憲法を掲げ、平和で安全な暮らしを実現するよう世界の人々と協同しましょう。

コロナ禍や戦争の影響は、私たちのくらしを直撃しています。給料が上がらないのに電気代など物価は上がり国民生活は疲弊しています。ところが政府は社会保障切り捨て政策を変更していません。岸田首相は「大胆な少子化対策」と謳い、教育の無償化や出産費用の保険適用などと言っています。その財源には消費税の増税や健康保険の負担増（個人も企業も）などが議論されており、本末転倒です。

その中で、2024年度は医療・介護報酬の同時改定が予定されています。「入院から在宅へ」「医療から介護へ」の動きがさらに進むことが懸念され、さらに「ケアプラン有料化」など、国民を公的サービスから遠ざけようとする意図が透けて見えます。

栃木保健医療生協の医療介護の事業活動と、地域での組合員活動、また、この間生まれている様々な連携を通じた居場所づくり、まちづくりの活動を通じて、誰も取り残さない社会の実現に貢献しましょう。



リニューアルしたパンフレット・加入セット

① 健康づくりまちづくり 安心のネットワーク

「つながるカフェカムカム」（ふたば地域）など、医療生協の事業所と地域の組合員、他団体との連携で子どもから高齢者までつながる居場所づくりが始まりました。栃木保健医療生協の地域活動は、事業所がない地域でも組合員が主体となって輝きを放ってきました。安蘇支部（佐野市）のデーターサービスからさわ、那須支部（那須町）のおしゃべりサロン、宇都宮市内の常設のたまり場、陽だまり（東部）、ニコニコはうす（北西部）、

ふたばの家（南部）などで居場所づくりに取り組んでいます。引き続き、組合員がいる地域で、あらゆる結びつきを生かして、くらしを支えるネットワークをひろげます。

② 地域まるごと健康づくり

栃木保健医療生協の強みは、各地に元気な組合員がいて、班や支部の活動を通じてゆるやかにつながる仕組みを持っている事です。いくつになっても役割をもって、ますます元気に活動ができる場をひろげます。

「健康チャレンジ」「きつすチャレンジ」は連携の取り組みが少しずつ広がっています。引き続き、とちぎコープやよつば生協の協力を得て、誰でも参加でき、気軽に健康習慣づくりに取り組める利点をさらに生かして発展させます。

③ 組合員ふやし、出資金ふやしの目標

出資金101,000円になり、加入や増資を呼びかけやすくなっています。事業所を利用する方々、班会や居場所などで、

人が集まる場所で気軽に加入や増資を呼びかけましょう。

子ども食堂やまちの保健室など、新しい取り組みを通じて知り合う人も増えています。それらの人に加入を呼びかけ、ともに組合員として新しい活動をつくっていきましょう。

今年度、組合員ふやし目標は1,000人、増資目標は5,000万円とし、純増2,500万円を目標にします。

栃木保健医療生協組合員の年齢構成は70歳代をピークに若年層が少ないため脱退や減資が増える傾向にあります。すべての組合員を大切に、意識的な世代継承の取り組みが求められています。



出張シェフ（那須支部）

(2) 事業・経営

① 私たちの理念を柱に、いのちとくらしを支える医療と介護の実践

地域のかかりつけ医としてのポジショニングと近隣病院などの連携を通じて、質の高い医療と介護の実践をすすめます。さらに安定した医師体制を構築し、第3診療所づくりの展望を開きます。

「生協10の基本ケア」(※)に全事業所で取り組みます。地域の組合員とともに学び、安心してくらし続けられるまちづくりの取り組みに生かします。

② みんなで担う経営をめざします

誰のための医療・介護なのかを明確にし、地域のくらしといのちを支える役割を再確認しましょう。管理者を先頭に、全職員がアイデアを出し、事業活動の改革改善に意識的に取り組みます。

地域の組合員に事業所の取り組みを定期的に報告し、適宜利用の呼びかけを行い、組

合員参加で事業経営の改善に取り組みます。経営を担う幹部の力量アップをめざし、積極的に研修を行います。

③ 安定した医師体制づくりが重要

医療事業で大きな利益が出ているからそれでよい、というわけにはいきません。医師労働の負担解消へ、働き方改革への対応が求められます。また、第3診療所づくりを展望した場合、さらなる医師確保が必要です。2023年4月現在の常勤医師数は協立に9名、ふたばに3名です。両診療所とも外来と訪問診療に積極的に取り組んでいます

が、医師体制が充足しているわけではありません。地域・家庭医療を担う医師の確保、日常的な奨学生活動に、地域組合員と役員が力を合わせて取り組み、展望を拓きましよう。

④ 歯科事業検討委員会

歯科事業検討委員会を立ち上げ、私たちのめざす歯科事業を議論します。

お口の健康の取り組みを強めます。お口の健康講座、歯磨き講習会、オーラルフレイル班会（ロングピロピロ活用など）、歯科医師や歯科衛生士など、私たちと一緒に働く歯科スタッフの紹介を組合員のみなさまを含め広く呼びかけます。

(3) 共に学ぶ人づくり

① 組合員が共に学ぶ

地域組合員と職場組合員とが共に学び、私たちの事業活動と地域活動をすすめる担い手づくりに取り組みます。

② 歴史と理念を学ぶ

私たちのこれまでの歩みや、栃木保健医療生協の理念の学習を強め、私たちの歴史に誇りを持ち、未来に向かって自信をもって歩んでいける人を育成します。

③ ICTの活用

社会の変化に的確に対応し、ICT（デジタル技術）の効果的な活用で効率の良い情報伝達や円滑なコミュニケーションで組織の発展、人づくりにつなげます。

(4) 平和で公正な社会の実現へ

① 気候問題とSDGs

気候変動問題と持続可能な社会の実現（SDGs）へ、多様な人たちとつながり、学び、ともに行動します。

② 憲法を守り生かす

日本国憲法を守り平和でいのちとくらしが大切にされる社会をめざします。日本国憲法を学び、日々の生活に生かします。



2022年度 虹のバレンタイン行動

(5) 栃木保健医療生協創立50周年に向けた取り組み

2025年に栃木保健医療

生協は創立50周年を迎えます。組合員と役員が私たちの歴史を学び未来を展望する大運動を準備します。また、記念誌発行や記念行事などを具体化するため、地域組合員や未来を担う若い職員なども加え、50周年記念事業実行委員会（仮称）を立ち上げます。

(※)「生協10の基本ケア」は奈良県の協同福祉会が提唱し、日本生協連や医療福祉生協連も推奨する介護理念。利用者自身の「ふつつの生活」を取り戻し、利用者・家族の生活の質を高めていくことを目指すもの。



通所介護 デイサービス虹

お悩み解決！名札づくり

デイサービス虹では、新しい施設になってから、新規利用者の方が増えました。

新しい仲間が増えるのはとても嬉しいことですが、一番の悩みは、カバンが誰のものか分からなくなってしまうことです。

そこで、恒例の名札づくりをしました。ブラバンに好みの絵柄を書き、色を塗って名前を入れて、オーブントースターで焼くと出来上がりです。

これからも新しい仲間が増えた際には行いますので、是非ご利用ください。

☎028-600-1601

所長 榎 忠光



体験利用・見学を実施しています。
(体験利用は昼食代600円がかかります)
まずはお問合せください。



組合員の

いきいき活動



デイサービスからさわ（安蘇支部）

キーボードの伴奏に合わせてみんなで合唱。笑顔溢れる1日となりました。（4月12日）



真岡支部総会

真岡支部の総会及びバーベキュー大会を開催。心もお腹も満たされました！（4月9日）



宮のかたりべ（宇都宮北西支部）

「宮のかたりべ」有岡光枝さんにお越しいただき、宇都宮の伝承を聞きました。臨場感ある語りに引き込まれました。（4月21日）



路線バスでお花見へ（宇都宮北西支部・ほほえみ班）

ろまんちっく村へお花見に行きました。交通手段として路線バスを使うことで、お出かけが実現！天気に恵まれ、満開の桜を見ることができました。（4月17日）

子どもの日

おすすめ絵本



堂心社 長野麻子 作／長野ヒデ子 絵
絵本で心と体について見てみましょう。
この本を声に出して読むと、呼吸して声を発して様々なコミュニケーションを行っていることが楽しく実感できます。



春休みのプランコ
宇都宮南支部 増山民江さん



みんなで晩ごはん
つながるカフェカムカム

文芸コーナー

俳句・川柳

朝まだきうぐいす鳴いて春を告ぐ

宇都宮市 斉藤多喜さん

せつかなツバメ目覚し鳴る前に

宇都宮市 小池 貞雄さん

降り注ぐ対策すれど紫外線

宇都宮市 橋本とめ子さん

大平の桜トンネルみごとなり

佐野市 峯岸貴志子さん

喜寿過ぎしナンプレ向いよろこびに

ペンネーム ガンバルバーバ

短歌

ジムやめてラジオ体操ウオーキング
お金かけずに体力作り 佐野市 林美恵子さん

満開のナニワイバラや梅の香が
風に漂いみつばち集う ペンネーム ベランダにて

朝露が若葉を包む小道行く
桃源郷の入口めざして ペンネーム 渚

絵・写真



栃木市 味村節子さん



咲き誇るマンサク
足利市 秋元晴男さん

読者の声

我が街の桜スポット

足利市営グラウンド北に位置する旧袋川周辺の「しだれ桜」が見事に満開です。皆様も是非一度はご覧下さいませ。

足利市 河内節子さん

気持のよい日々を

ケアマネジャーさんの勧めで訪問介護虹の介護を受けています。シャンプーや体を丁寧に洗ってくださり、さっぱりしてとても気持ちがいいです。介護の力を借りて無理せず充実した日々を過ごすといですね。自分でやっていたので累積疲労がたまり辛かったのですが、今は体全体がスッキリして食事がおいしく気持ち明くなりました。

ペンネーム 幸福なマーさん

「ほけ」の彩り

我が家に真赤に咲く「ほけ」があります。この「ほけ」毎年訪問医に色が良いと誉められます。今年も見事に咲き、楽しめました。

宇都宮市 菊池洋子さん

心強い存在

朝のラジオ体操や散歩など頑張っています。しかし、一人暮らしの後期高齢者として、「ケアマネジャーさんの支えがある」というのは、ありがたい心強いですね。

ペンネーム ひろじい

医療メモ

胃がんリスク、ピロリ菌で

がん細胞はDNAの損傷を修復する機能が失われて生じ異常な増殖を続ける。胃粘膜に潜在するヘリコバクター・ピロリ菌が生み出す「CagA」と呼ばれるたん白質はこの修復機能を妨げ発がんリスクを高めることが知られている。胃力メラで慢性胃炎や治りにくい胃十二指腸潰瘍がある場合、ピロリ菌の感染検査や除菌治療に健康保険が使える場合があるので相談しよう。

生協ふたば診療所 医師 天谷静雄

新しい発見

先月号のクイズは、四字熟語を調べて、知らなかった熟語を見つけれられ、新しい発見もできて楽しかったです。

今年もたくさん桜を見ることができました。やっぱり毎年同じく見ても、桜はいいですね！

ペンネーム 圭

クイズに当選！

「健康とくらし」クイズ応募で当選し、お食事券が送られました。嬉しくてつい「わあ、ありがとう」と一人で大声を出してしまいました。早速子どもにも電話をしました。ありがとうございます。

ペンネーム 夢子

楽しく生きる

ある本の中に80歳から「いまある能力」を生かして楽しく生きる、とあった。いつも体の不調を嘆き、ネガティブになっていた自分。「いまある能力」は何か。見つけて生かして楽しく生きたい。

ペンネーム 湖

神様からの贈り物

植物の生命力の強さ、逞しさに日々感動しています。3年ほど前から咲き始めた、小つちやな小つちやな春りんどうが、今年も咲き始めました。小鳥が種を運んできたのか、神様の贈り物なのか、消えてしまったかなと思っっている芽が出てくるのです。

那須町 寺田治子さん

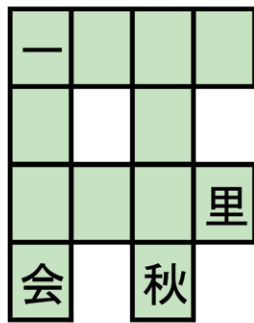
出資金情報

いま生協は

- ①加入組合員(4月)
……43人
 - ②組合員総数
……11,733人
 - ③増資金額(4月)
……1,096,000円
 - ④出資金総額
……330,136,500円
 - ⑤一人平均出資額
……28,137円
- (2023年4月30日現在)

クイズコーナー

千一挙日一期動望



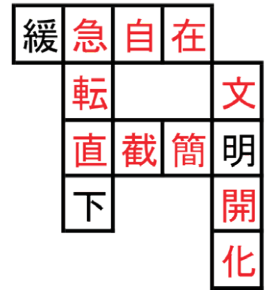
左表の全ての漢字を使って、8個の空欄を埋め、4つの4字熟語を完成しなさい。

抽選で3名の方にグルメカードをプレゼント!

応募締切 6月15日 消印有効

3月号クイズの答えと当選者

宇都宮市 秋元 稔子さん
宇都宮市 近藤 弘子さん
ペンネーム かずちゃん



宇都宮協立診療所の外来診療表

〒320-0061 宇都宮市宝木町2-1016-5

TEL 028-650-7881(代)
FAX 028-650-7884

新患の方、急患の方、予約日はまだだけれど具合が悪くなった方などは予約がなくても診察ができますので、ご来院ください。

夜6時以降や休診日は、宇都宮市の夜間休日救急診療所へお願いします。☎ 028-625-2211

	月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 11:45	植木(予約) 関口 武井 軽部/川口 (内視鏡)	関口(予約) 池田 川口	軽部(予約) 水曜担当医 (山本/平野)	軽部(予約) 関口 川口	軽部(予約) 関口 瀬山 平野(内視鏡)	交替制 11:45まで受付 午後休診
15:00 ～ 18:00	軽部(予約) 月曜担当医 (関口/植木)	山本(予約) 火曜担当医 (平野/池田)	休診	軽部(予約) 木曜担当医 (東山/平野/池田)	軽部(予約) 瀬山(予約) 金曜担当医 (池田/武井)	
	18:00まで受付	16:30まで受付		18:00まで受付	16:30まで受付	

※両診療所、新型コロナウイルス感染症対策のため診療体制が変更になることがあります。※乳児検診(4ヵ月、10ヵ月)希望の方は、事前にお電話下さい。

●火曜日と金曜日の受付は午後4時30分までです。●「予約」と書いてあるところは時間予約がとれます。予約をとった患者さんのみの診療となります。●予約の無い方は、予約の無い患者さんを診る医師がおりますので、そちらをご利用ください。●申し訳ありませんが、電話での診療予約はできません。来院時、窓口をお願いします。予約の変更は電話でもできます。●土曜日は、交替制となっています。担当する医師は外来に掲示します。

お知らせ
お願い
予約の変更や診療時間や検査の問い合わせは、朝9時から夜7時の間にお願いします。朝の玄関の開錠時間は8時35分頃(朝礼後)です。受付開始時間は、朝は8時35分から、午後は2時30分からです。ご協力をお願いします。病棟の面会は事前予約制となっております。外来終了後、玄関を施錠します。

生協ふたば診療所の外来診療表

〒321-0164 宇都宮市双葉1-13-56

TEL 028-684-6200
FAX 028-684-6208

	月	火	水	木	金	土
8:45 ～ 11:45	北岡 鈴木(胃カメラあり) 千嶋	北岡(胃カメラあり) 武井 千嶋	鈴木 天谷	北岡 植木 古橋	天谷 千嶋	交替制
16:00 ～ 18:00	天谷	軽部(予約) 鈴木	休診	千嶋	関口	休診

【投稿の募集要項】クイズコーナーの解答、文芸コーナー、読者の声を募集しています。／手紙、はがき、FAX、メール、診療所や班会での手渡し、どのような形で受付します。／毎月の投稿締め切りは翌月15日です。／お名前(ペンネーム可)、住所、連絡先を明記してください。／感想やご意見などは、文意を変えずに編集させていただきます。／掲載作品は原則として返却いたしません。返却希望の方は必ず投稿時にお申し出ください。

1世帯あたり1通、郵送もしくは組合員による手配りで毎月お届けしています。本人が住んでいない、お引越しなどの場合はお手続きが必要です。

連絡・投稿先



栃木保健医療生活協同組合

「健康とくらし」編集委員会 宛

〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町2-1028-17

電話 028-600-1606 FAX 028-600-1607

HP <https://www.tochigihoken.or.jp/>

メール chiiki@tochigihoken.or.jp

発行人：関口真紀 印刷所：(株)マルダイ印刷

毎月1回20日発行

HPはこちら



先月号は待合室、今月号は編集後記を初めて執筆しました。そして来月(6月24日)は私にとって初めての総代会です。機関紙の編集にあたり一足先に総代会議案書に目を通し、組織の方針を改めて学び、身が引き締まる思いです。新緑から零れる眩しい光が、一步一步夏に近づいていることを教えてくれます。初めてのこ

とばかりの私も、一步一步、みなさまと進ませ

ていたけると幸いです。(か)

編集後記